

2026年7月28日

2026年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第7回 7月下旬分)

香川県水産試験場 環境・資源研究課 (植田)
TEL 087-843-6511 / FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年及び平年を上回った。

前年	2025年7月15日	(7点の平均)	6.3 個/m ³
前回	2026年7月1日	(7点の平均)	9.6 個/m ³
今回	2026年7月16日	(7点の平均)	30.3 個/m ³
※7月下旬の平年値			16.0 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年及び平年を上回った。

前年	2025年7月15日	(7点の平均)	8.4 尾/m ³
前回	2026年7月1日	(7点の平均)	0.2 尾/m ³
今回	2026年7月16日	(7点の平均)	21.3 尾/m ³
※7月下旬の平年値			4.7 尾/m ³

○プランクトン調査

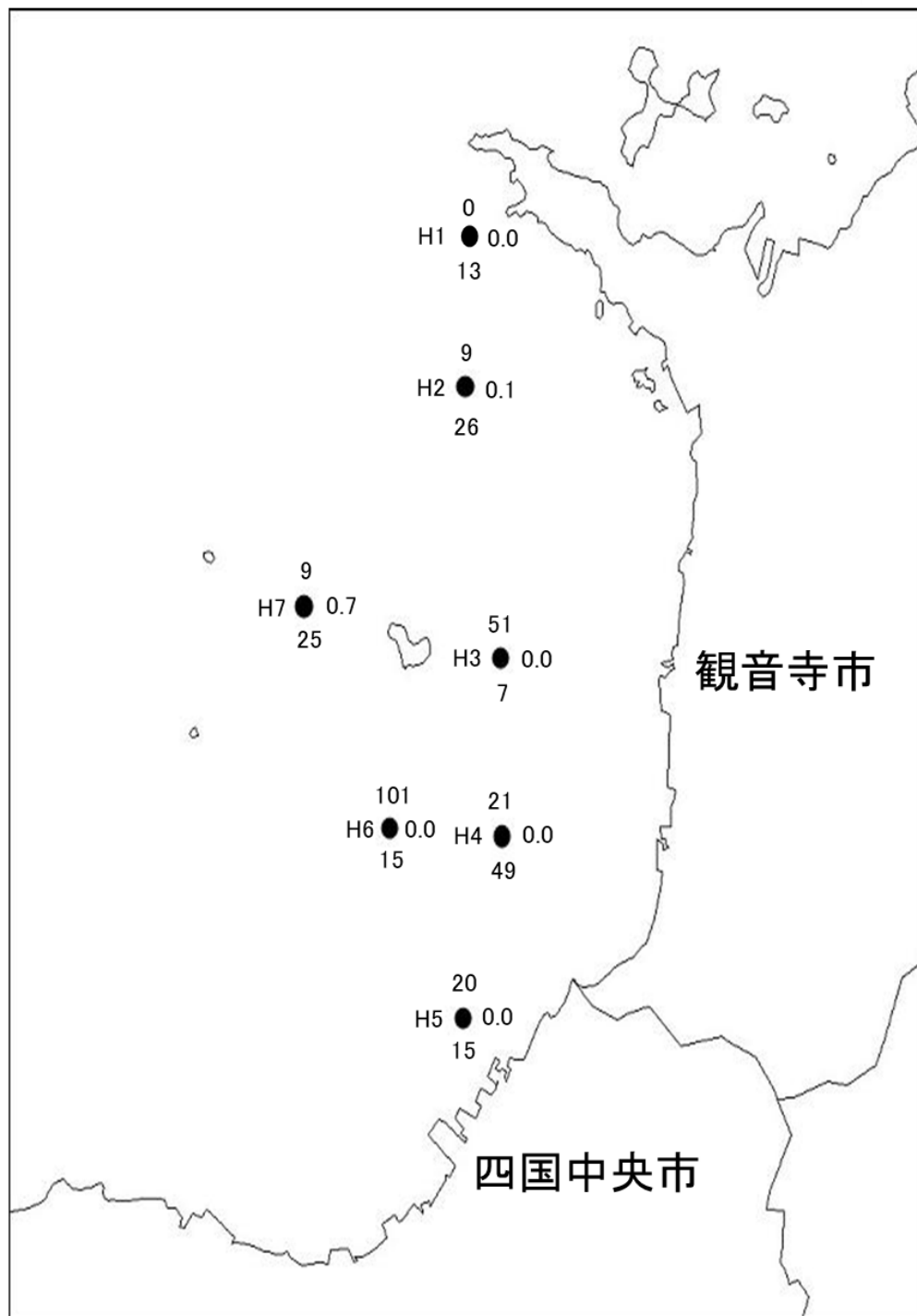
カタクチイワシの主要な餌であるカイアシ類量は、平年を下回った。

○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、平年を下回った。

次回の調査は8月4日(火)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2026/7/16)



●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類密度
5 ← 仔魚密度

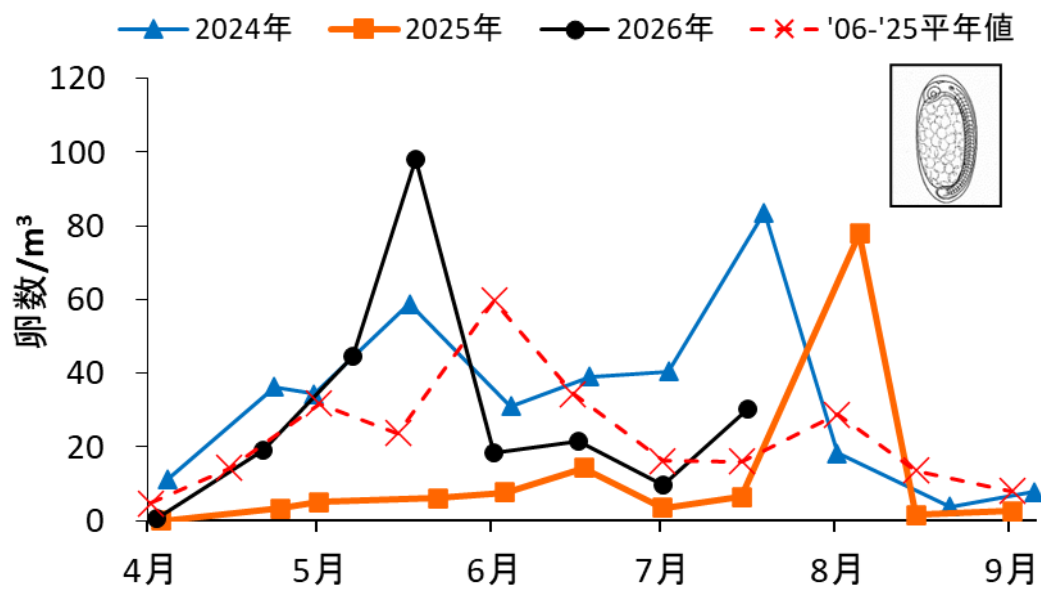


図. カタクチイワシ卵数の推移

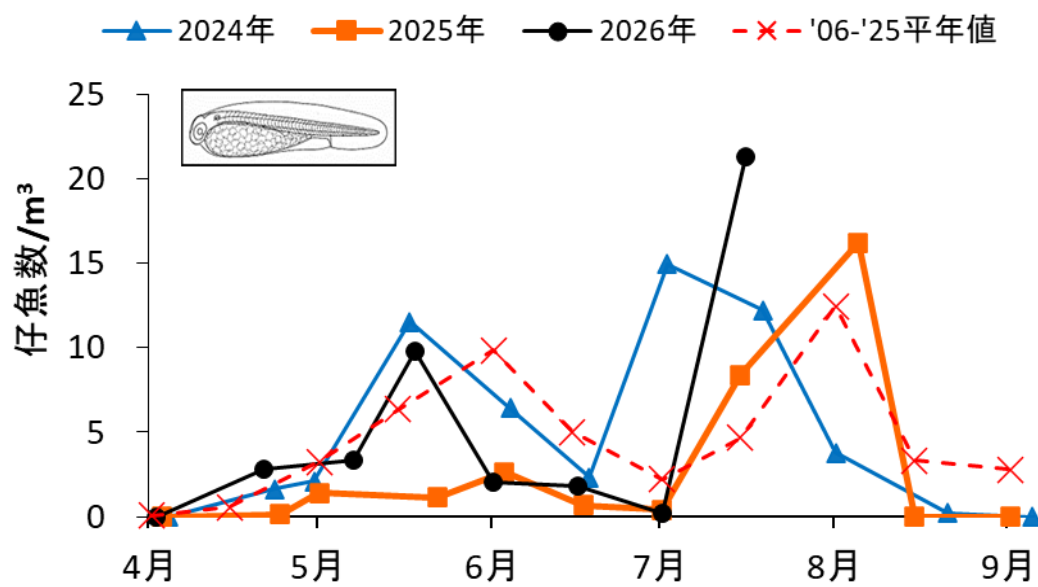


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

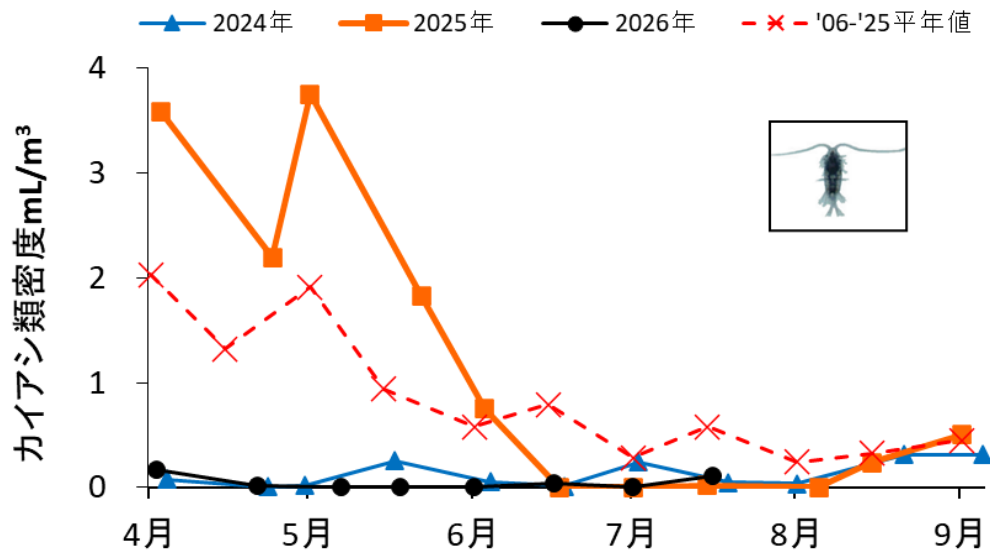


図. カイアシ類量の推移

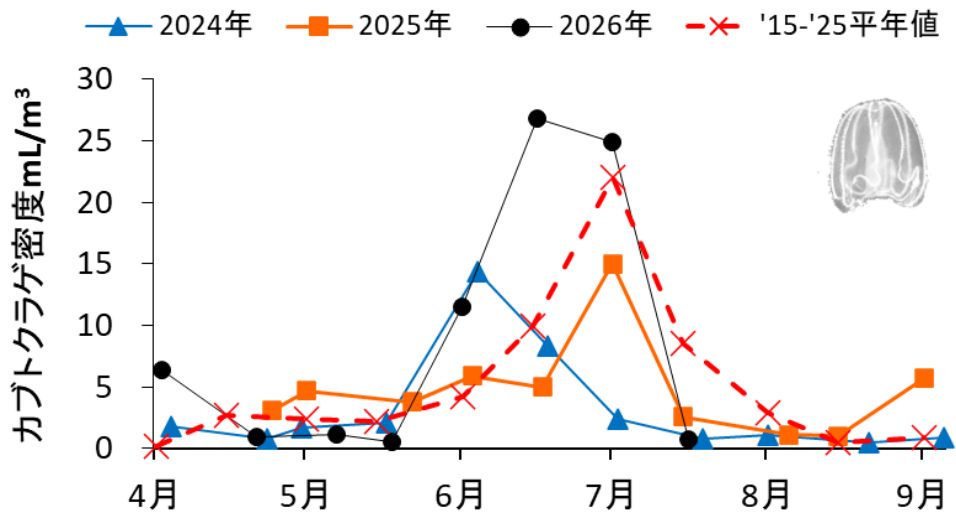


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2026 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(7回目)

調査日: 2026/7/16

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (℃)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	28.8	0	0	6	39	0	4
H2	20	27.5	18	0	5	49	0	5
H3	20	28.2	112	0	8	15	0	8
H4	20	28.9	40	0	7	93	0	8
H5	20	29.6	39	0	7	28	0	9
H6	20	28.9	209	0	20	31	0	2
H7	20	27.6	22	0	6	59	0	7
平均		28.5	63	0	8	45	0	6

※卵稚仔数は採集数を示す。